

Aichi

あいちの学童保育

県連協ニュース1号
2019年6月4日発行
愛知学童保育連絡協議会
TEL:052-872-1972 FAX:052-308-3324
Email:aichigakudou@gakudou.biz
http://gakudou.me/aichikenrenkyou/

50周年記念総会&パーティー

5月26日(日)、名城大学ナゴヤドーム前キャンパスにて、記念すべき50周年の総会及び記念式典、記念パーティーを100名以上の参加で行いました。

多くの皆さんと、1年の活動、歩んできた50年を振り返り、子どもの命と権利を守る学童保育の意義を確かめ合い、力強く新年度のスタートを切ることができました。

ご出席いただいた来賓の方は以下の通りです。*50音順
国会議員一岡本みつのりさん、神田憲次さん、近藤昭一さん、杉本和巳さん、古川元久さん、牧義夫さん、松田イサオさん、吉田つねひこさん。秘書の方の参加として池田佳隆さん、工藤彰三さん、熊田裕通さん、斎藤嘉隆さん、山尾しおりさん。県議会議員一筒井タカヤさん、水谷満信さん。また森井元志さんにはパーティーまでご出席いただきました。

関係団体一愛知保育団体連絡協議会、よかネットあいち、建交労愛知学童保育支部、特定非営利活動法人学童保育指導員協会。また国会議員はじめ多くの方からのメッセージも頂きました。加盟の各学童保育所に送付した総会資料をご覧ください。



パーティーでは趣向をこらした地域の出し物で盛り上がり、和気あいあいとした雰囲気の中、50周年を祝いました。岩手、静岡、石川、岐阜、三重、大阪、兵庫からも仲間が集ってくれ、全国各地からもお祝いのメッセージが寄せられました。

*総会等の様子は夏発行予定の全世帯新聞で掲載予定です。

国会で「学童保育の「従うべき基準」の参酌化を含む地方分権一括法」が採決されました。

学童保育の基準をすべて参酌化するための児童福祉法の改定されることとなりました。公布後、早ければ2020年4月施行です。

今後の取り組みとして、

- ①市町村の条例にある従うべき基準の堅持を急ぎ要望していくこと、
- ②法律案の附則「施行後3年を目処に質の確保の観点から検討を加え必要な措置を講じ」させ、従うべき基準に戻していく働きかけ、
- ③従うべき基準の2項目を戻すだけでなく、国が主導して予算措置を十分に行い、財政的根拠を持って学童保育の拡充をはかる働きかけ、が大切です。

「学童保育所のICT化進みますか？」

2019年度予算に、学童保育の事務負担を軽減し、児童の安全確保を図る目的で「放課後児童クラブ等におけるICT化の推進」が組み込まれています。すでにお伝えした通り、補助率は国1/2、市町村1/4、事業者が1/4と運営側の負担はあります。補正予算で予算化した自治体もありますが、まだの地域も多くあります。そもそもこの予算を使って何ができるのかわからないと要望もしづらいですね。基本的なことを押さえてみましょう。

Q:ICTってなに？

A:Information (情報) and Communication (通信) Technology (技術) の略称です。

Q:ICT化って何をすれば良いの？

A:まず、ICT環境を整えましょう。具体的には情報機器(PC、タブレット等) 購入して、インターネット回線(光回線推奨)を導入しましょう。

Q:何が出来るの？

A:できることは沢山あります。行政窓口とのやり取りがインターネットを通じて可能・各種情報の発信、取得が容易・記録のデータベース化・事務作業の負担軽減etc.

Q:まだちょっと不安だな...

A:身近に詳しい人はいませんか？よくわからないことは相談してみましょう。また、セキュリティはとても重要です、漏れが無いように計画しましょう。

「日本の学童ほいく」

オススメしてます♪



<5月号の特集号はすごい！>

「日本の学童ほいく」5月号は「学童保育指導員の仕事とは」特集号。深いです。読まないと損！

大阪市よさみ学童クラブの指導員と保護者が、毎月の保護者会で行なっている「保育交流」についてそれぞれの立場から書いています。学童保育には保護者会が必要で、それは保育と子どものことを話し合う場ができるから！だということがよくわかります。特集テーマに対して研究者(今回は滋賀県立大・福井雅英さん)のまとめ記事が必ず付いているのも視点が整理できて良いです。関東学院大・中西新太郎さんの連載「一緒にいられるってすごい」の第2回ともびたいとリンクしています。「ただい」経験の積み重ね＝学童保育文化の豊かさに気付かされます。

そして思いは冒頭の「ずいそう」に還ります。毎月違った著名人が執筆するこの欄の今回は、日本の恐竜研究の第一人者(ということは筆者紹介を読んで知りました)小林快次さん。小林さんの生きる姿勢、生きる術の見つけ方は、シンプルで潔い。一生を通じて「人間らしく生きること」が希望や夢を見出す目を養うと。学童保育で大切にしたいのはまさにこういうこと！その魅力が子どもやおとなを捉えて離さないのかもしれない。

(名古屋市 保護者)